

一般質問



大牟田市ごみ処理基本計画

問 前計画の期間満了に伴い、新たに策定された大牟田市ごみ処理基本計画の基本的な考え方・方向性を聞きたい。

答 三つの基本方針（排出抑制の推進・資源化の推進・適正処理の推進）に基づいて、ごみの減量化・資源化をなお一層推進していく。

再発言 特に排出抑制の推進・資源化の推進には、市民・事業者の理解と協力を得ることが必要不可欠であり、そのためには、きめ細かな説明と啓発活動が重要。

自転車保険の義務化

問 急速に全国の自治体で、

自転車保険の義務化が始まっている。

この自転車保険の加入義務化に対する本市の考え方を聞きたい。

答 自転車による死亡事故の加害者になった場合に、高額な損害賠償金が発生することもあるため、自転車保険の必要性はあるものとする。

県では加入を義務化する条例改正を検討しており、その動向を注視し、市としても自転車保険の加入義務化についての周知・啓発に努めたい。



地域の魅力を高め、地域に愛される街路樹像

問 街路樹は、都市の価値を高める非常に重要な要素ではないかと考えているが、本市において街路樹に関する方針

が示されていないため、街路樹を適正に管理し、都市の魅力を向上させる資源として活用されていないのではないかと聞きたい。

少子高齢化・人口減少が進む中、魅力ある選ばれるまち大牟田のブランディングのため、街路樹に関する基本方針の策定が必要ではないかと聞きたい。

答 まずは、他都市の事例を調査研究したい。

地域に愛され親しまれる身近な公園（街区公園）の多様な利活用

問 子供から高齢者まで住民

が行きたい、遊びたいと思わせる芝生の広場を専門業者を必要としない鳥取方式により創出したり、公園を市民協働による菜園・果樹園・バラ園等のコミュニティーガーデンとして活用し、高齢者の外出機会や生きがい創出、地域の憩いの交流の場とするなど見直し、利用者の視点に立った市民が使いたいと思う多様な公園の整備が必要ではないかと聞きたい。

答 パークマネジメントのあり方について、今後、検討が必要と考えている。



子育て支援

問 幼児教育・保育の無償化が10月より実施されたが、事業者や利用者からの問題は、
答 無償化の実施から2カ月

余りだが、大きな混乱もなく、利用者や事業者からは問題等の声は寄せられていない。

問 園外活動などにおける保育施設等周辺のキッズゾーンの整備を含む安全対策は、
答 小学校等の通学路に設けるスクールゾーンに準ずるキッズゾーンの設定について、まずは事業者、国県市の各道路管理者及び警察と連携し、情報収集、共有等に努める。

再発言 本市の交通安全対策を推進し、キッズゾーンの整備も進めてもらいたい。

夜間中学

問 夜間中学を松原中学校に設置される経緯と効果は、
答 公共交通機関の利便性が高く、今後も人口密集が続く市中心部の駅西側において都市機能の役割を果たしている。夜間中学の設置により、学び直しや外国籍の方の受け入れなど、多様な方々の学ぶ場や交流拠点としても期待できる。

再発言 夜間中学設置については丁寧に推進されたい。